

# ひのほら 議会だより

8

2017.8.1  
No.150



訓練の成果が今ここに (第23回檜原村消防操法大会 7月9日)

## 目 Contents 次

- P.2 | 村提出議案を可決 平成29年第2回定例会
- P.3 | 議案と議決結果
- P.4 | 各委員会報告
- P.5 | 一般質問 8名 10問
- P.10 | 臨時会が開催されました
- P.12 | 新体制決まる

このようなことを審議いたしました

# 平成29年第2回定例会

6月5日～6月16日の12日間、開催し、村長提出案件8件が提出され、すべてが原案どおり可決されました。

## 契約

議案第31号

消防ポンプ車購入契約について

(説明)

老朽化に伴い、第1分団第2部のポンプ車を入れ替えるものです。

○契約の方法 指名競争入札

○契約金額 2千350万800円

○契約の相手方 (株)きしの防災

議案第32号

配水管布設替工事請負契約について

(説明)

(説明)

老朽化に伴い、小沢地内の配水管約1kmの布設替を行うものです。

○契約の方法 指名競争入札

○契約金額 1億3千35万6千円

○契約の相手方 草間工業(株)

議案第33号

やすらぎの里木質バイオマスボイラー設置工事請負契約について

(説明)

○契約の方法 指名競争入札  
○契約金額 1億4千774万4千円

○契約の相手方 (株)武田組

議案第34号

村営住宅用地造成工事請負契約について

(説明)

○契約の方法 指名競争入札

○契約金額 7千95万6千円

○契約の相手方 翠高庭苑(株)

※4ページの総務委員会報告に詳細を掲載しています。

## 条例

議案第35号

檜原村公共物管理条例の一部を改正する条例

(説明)

公共物占用料に新たに「発電の原動力としての流水使用料」を加えるものです。

## 補正予算

議案第37号

平成29年度檜原村一般会計補正予算(第1次)

(説明)

補正額4千74万円を増額し、総額を36億3千374万円としました。

○主な新規事業

・旧北檜原小学校校舎改修等調査業務委託料

・デマンドバスやまびこ車両購入

・エコツーリズム推進協議会交付金

付金

議案第38号

平成29年度檜原村国民健康保険特別会計補正予算

診療施設勘定(第1次)

(説明)

補正額806万2千円を増額し、総額を2億2千606万2千円としました。

## その他

議案第36号

檜原村道路線の一部廃止及び変更について

(説明)

村道第90号下川線の工事完了に伴い、村道路線の一部廃止及び変更をするものです。



## 平成29年第2回定例会で審議された議案と議決結果

議長 森田ちづよ 全ての議案が全会一致で賛成となりました

区分	議案名	議員名	議席番号									議決結果
			1	2	3	5	6	7	8	9		
			清水 兵庫	吉川 洋	山崎 源重	浜中 由造	中村 賢次	峰岸 茂	山口 和彦	清水 満男		
契約	第31号	消防ポンプ車購入契約について	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
	第32号	配水管布設替工事請負契約について	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
	第33号	やすらぎの里木質バイオマスボイラー設置工事請負契約について	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
	第34号	村営住宅用地造成工事請負契約について	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
条例	第35号	檜原村公共物管理条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
その他	第36号	檜原村道路線の一部廃止及び変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
補正予算	第37号	平成29年度檜原村一般会計補正予算(第1次)	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
	第38号	平成29年度檜原村国民健康保険特別会計補正予算(診療施設勘定第1次)	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
議員提出	第3号	檜原村議会議員の議員報酬等の特例に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	

### 議会を傍聴しませんか

傍聴される方は、議会事務局入口で「議会傍聴届」に必要事項を記入していただいた後、「議会傍聴券」をお持ちになり議場へ入場してください。

お問い合わせは議会事務局へ ☎598-1128



総務委員会報告

総務委員会は6月8日に開催し、所管事務調査1件と常任委員会による村外先進地視察等の検討を行いました。

○村営住宅用地造成工事

契約金額 7千95万6千円  
契約業者 (株)翠高庭苑

檜原村では、定住化のための重点施策として村営住宅の建設を推進しており、平成17年から31世帯分の住宅を建設しています。

しかしながら、村に対しては以前より、既存の住宅については、子どもの成長と共に住宅が手狭になるなどの意見がありました。そこで、今回村では、上元郷地区の約1千600㎡(約500坪)の村有地を造成し、既存の住宅より一回り大きな住宅の建設を計画しています。

また、建設予定の住宅は、戸建てが5棟(5世帯)、集合住宅が1棟(3世帯)を予定しているとの説明がありました。

委員長 山口 和彦



村営住宅用地(上元郷)視察

産業建設委員会報告

産業建設委員会は6月9日に開催し、所管事務調査1件と常任委員会による村外先進地視察等の検討を行いました。

○やすらぎの里木質バイオマスボイラー設置工事

契約金額 1億4千774万4千円  
契約業者 (株)武田組

檜原村では、平成28年3月に森林資源の利活用や自然環境の保全を目的とした「木質バイオマス及び再生可能エネルギー整備計画」を策定しました。この計画に基づき、平成29年度中にやすらぎの里に木質バイオマスボイラーを設置する予定です。

バイオマスボイラーについては、職員駐車場に設置する予定であることや、木質チップを燃料に使用すること、また既存の灯油ボイラーと併用することなどの説明がありました。

委員長 峰岸 茂



やすらぎの里視察

## 一般質問

# 登壇8人 村政を問う

6月議会の一般質問は6月5日に行われました。内容は、要約して受付順に掲載しています。

山崎 源重

議員



## 檜原村の農業政策について

地域特性を活かした農業振興を推進している

③村の農業に関する将来設計をどのように捉えているのか。

**村長** ①じゃがいも焼酎の事業の方向性、事業費などを分析・調査し、実現可能性、事業化を検討するための入札を、提案方式により実施する予定。

②獣害は全国的な問題となっており、国では鳥獣の固体数の削減に向けて抜本的な鳥獣捕獲対策を集中的に実施している。村においても国に準じ、対応を講じている。

③第5次檜原村総合計画や総合戦略にある基本目標によって、地域特性を活かした農業振興を推進している。

**質問** 農業の組織化をはかり、耕作放棄地の条件によって、ガラスハウスやビニールハウス等を構築し、管理農業を目指すべきたと考えるがどうか。

**質問** 構造改革特区により、

じゃがいも焼酎の製造が可能となる。そこで村の農業政策について質問する。

①じゃがいも焼酎のプランはどのようになっていくのか。

②獣害に関する抜本的な対応策はあるのか。

中村 賢次

議員



## 「これからの高齢者対策」について

実情に合った生活支援を図る

**村長** ①介護予防に対する意識を高め、住民が一体となった介護予防の実施へ向け取り組んでいる。

②生活支援コーディネーターを配置し、村の実情に合ったサービス資源の発掘とサービス資源を活用した生活支援サービスの充実を図っていく。

**質問** ①檜原村は面積が広範囲であるため、一人の福祉の専門職にかなりの業務負担がかかると思えるが、村の考えは。

②生活支援コーディネーターの配置完了時期は。

**福祉けんこう課長** ①地域社会とつながりを持つことをモットーに、関係者が相互に連携を図り、取り組んでいる。

②今年度、1名の配置を完了した。

**質問** 広域での地域包括ケアシステムは考えられないか。また、そのような動きはないのか。

**質問** 地域包括システムの構築が求められていることから、以下について質問する。

①村における地域包括ケアの現状について。

②今後、村に求められる地域包括ケアシステムをどのように構築しようとしているのか。

**福祉けんこう課長** 西多摩地域広域行政圏協議会に介護保険の分科会を設置し、その中で広域として実施できそうな事業について、今後の検討課題となっている。

浜中 由造

議員



## 高齢者ドライバー事故防止のための施策対応について

希望者が10名を超過した場合は補正予算での対応を考えている

② 村民に安全装置などのついた車の仕組みを理解し、補助制度を活用してもらうための試乗体験などのイベントを行う考えは。

**村長** ① 5件の電話等の問い合わせ、補助金交付申請書については3件の受理をしている。今後の方向性については申し込み状況を勘案し対応したい。

② 安全装置付き自動車の試乗体験あるいはデモンストレーションの実施については関係機関と調整を図り検討したい。

**質問** ① 年間予算をオーバーした場合、補正予算を組む対応が可能か。

② 高齢者クラブなどにビデオ、DVDを観てもらうことはできるか。

**福祉課長** ① 希望者が10名を超過した場合は、補正予算での対応を考えている。

② ビデオ、DVD、タブレットがあれば放映の実施は可能であると思われるので検討したい。

① この制度の現状と今後の方向性は。

### 再生可能エネルギーを利用した施策について

**環境負荷の少ない再生エネルギーについて調査・検討・導入を進めている**

**質問** 村総合計画の中では、「自然エネルギーを利用して環境負荷の少ない再生エネルギーの導入に努める」とある。そこで以下の点について伺う。

① 再生エネルギーを利用した施策の現状と取組について。

② 自立分散型再生エネルギーのモデルである自立型ソーラーシステム\*と普及促進事業を導入できないか。

**村長** ① 循環型社会づくりとして、太陽光や木質資源など自然エネルギーを利用した環境負荷の少ない再生エネルギーについて調査・検討・導入を進めている。

② 村の財政負担のない東京都で再生可能エネルギーの導入を行う再生可能エネルギーの導入で、防災施策や観光施策も含め、

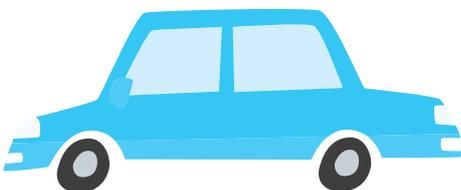
導入について協議するよう担当部署に指示を行った。

**質問** 自立型ソーラーシステムを、観光として多くの人が訪れるところに設置できないか。

**産業環境課長** 観光面として複数台の申請が可能であると考える、集客力のある場所への設置を考えている。村の地域特性の実情に即した再生可能エネルギーの導入を進めるとともに普及啓発にも努めていきたいと考える。

※自立分散型再生エネルギー  
電力系統と接続しておらず、エネルギーの消費地近くに分散配置された、比較的規模が小さいエネルギー

※自立型ソーラーシステム  
電力系統と接続しなくても、太陽光発電システムからの電気のみで携帯電話等の充電ができるLED照明を備えた設備



山口 和彦

議員



## ひのはら緑(力)創造事業の今後の事業展開は

積極的に事業展開し、あわせてエコツーリズムの推進を図りたい

伐採・搬出や樹種変換などに取組んでいる。景観が整備され、地元が活性化されたという話も多く聞いている。

②雇用の確保、沿道及び村道の景観の確保、産業・観光振興などにつながると考える。また、この事業を積極的に支援し、展開することで副次的効果も期待できると考える。

**質問** ①現在秋川は、カワウの被害に悩まされているが、河川の木は伐採はできないか。

②払沢の滝におけるジップラインの計画の進捗状況は。

**産業環境課長** ①土地所有者の承諾が得られ、景観がよくなるような場所は、積極的に取り組んでいきたいと考える。

②実施場所について地主との調整を事業者が行っていると聞いている。

**質問** ①ひのはら緑(力)創造事業の現状について

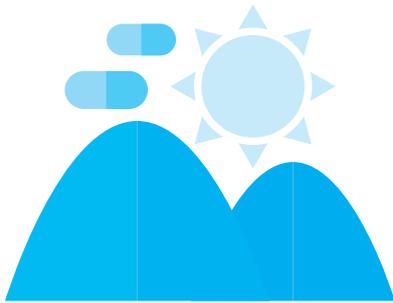
②ひのはら緑(力)、創造事業の今後の方向性と事業展開について

**村長** ①沿道景観を整備し、美しい村のイメージを形成するため、都道・村道の沿道の樹木の

推進を図りたい。

※ジップライン

森の中に張ったワイヤを、滑車を使って滑り降りる遊び



清水 満男

議員



## 耕作放棄地の対応策について

耕作放棄地を解消する対策について法的な部分も含めて今後検討したい

た。耕作放棄地を解消する対策について法的な部分も含めて今後検討したい。

②農地の再生を実施している自治体の状況等を調査、研究していきたい。

**質問** ①アンケート調査の結果はどうであったのか。

②耕作するためには機械化が必要であり、傾斜地対応の耕運機の試作ができないか。

**産業環境課長** ①所有者の66%の方が耕作していない。今後の使い方は33%の方が耕作しない予定であり、耕作する予定の方は29%となっている。

②耕運機の改造の可能性や、安全性の確保の確認ができないので今後調査、研究したい。

**質問** 耕作農家等に観光農園や体験農業ができるよう働きかけられないか。

**質問** ①耕作放棄地を解消するため、村ではどのような対策を考えているのか。

②全国各地で試みられている「耕作放棄地を集約する仕組みづくり」についての村の考えは。

**村長** ①休耕地の情報収集のためのアンケート調査を実施し

事業を実施しようとする法人や会社があれば、支援したいと考える。農協、観光協会、地域おこし協力隊とも連携し、耕作放棄地の対策について調査、研究していきたいと考える。

清水 兵庫

議員



## 住み続けられる村と するために

どのような方法が良いか検討する

期には、冬期の生活に不自由を感じている方が住み、夏期には村に興味のある方に住んでもらうことで、将来的に定住に繋がっていく社会実験として考えられないか。

**村長** 住み続けられる村とするために、高齢者から子どもまでが住み続けられる事を目標に、各種施策を実施している。

現在の住み慣れた場所でも、より快適に住んでもらうために、社会資本整備として、下水道・福祉モノレール・ミニスーパー等を整備している。

集落再編は、過去、数度話題になったが、現在は進める予定はない。

提案は移住者の定住化策として非常に興味はあるが、住宅確保等に課題があるので、従来の

**質問** 高齢化の進む村で、今後の課題となる、一人・二人暮らしの高齢者が住み続けられる村の施策として集落再編も一つの施策と考えるが、同時に移住者を増やす施策も重要であると考える、以下について質問する。

村の中心地に住宅を建て、冬

峰岸 茂

議員



## 村内観光地における ベンチの導入について

観光協会、都レンジャーなどの意見を伺い調査・研究し検討する

③クラウドファンディングによる手法について、村の考えは

**村長** ①村内には弘沢の滝、浅間嶺などに東京都が整備したものが25基ある。

②村が整備したベンチはなく、整備予定はないが必要に応じ整備を図っていききたい。

③クラウドファンディングによるベンチ本体の寄附については、今後調査・研究を行い、導入について検討したいと考える。

**質問** クラウドファンディングによるベンチの導入について、以下の手法を提案したい。

①ベンチの整備は寄付金ではなく、ベンチ本体とし、檜原産材を用い、村内の業者に製作、設置を依頼する。

②デザイン、サイズ、価格、設置場所は村が定める。

③寄付されたベンチへは寄付者名を記した記念プレートを取り付ける。

④寄付の公募はインターネットや広報等で行う。

**産業環境課長** 観光協会、都レンジャーなどの意見を伺い調

査・研究し検討したいと考える。

※クラウドファンディングインターネットサイトを通じて不特定多数の人に呼びかけ、広く寄付金など資金を集める方法

吉川 洋

議員



## (株) めるか檜原 について

数値では難しいが評価は良いと思う

の赤字となった。

ミニスーパーの「かあべえ屋」は、一日平均14万円程度の売上げで、利用者は日平均154人、年間の売上高は3千605万円余で、予定売上高よりも24倍の実績となった。塵芥収集は、平成29年度の見込みで約3千43万円、森林組合から「めるか檜原」に委託先が変更後も苦情などは寄せられていない。神戸のマス釣場はレストハウスや厨房改修工事を行って、宴会や祭り等のオードブルをつくり好評を得ている。

**質問** ミニスーパーの赤字は約627万円、当初計画の438万円よりも拡大している。  
企業経営は売上高より実質が問われるものである。又、村内のお店等への影響や高齢者への買い物支援の現状はどうか。

**企画財政課長** お店への影響等について、必要があればお店の方々に聞いていきたい。  
買い物支援は、今は高齢者への見守りを中心に行っている。

**村長** 本社の売上高は6千22万円余であり、経常利益は約82万

### 小林家住宅の現状と課題 について

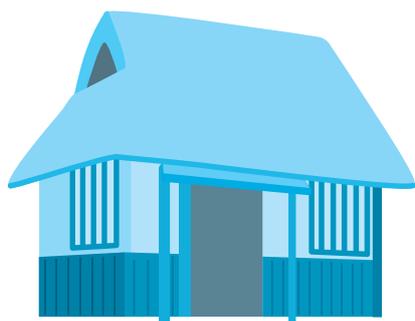
来訪者から評価されて、特に課題はない

**質問** ①国指定の重要文化財である小林家住宅のモノレールが再開した。私も時々は訪問しているが、現場で働く方々の対応は大変に良いと感じている。現地では小林家住宅への訪問者にアンケートなども実施しているようだが、来訪者の声はどのようなものがあり、どのように対応を考えているのか。

「小林家住宅管理員の定例会」で協議をおこなっている。  
②植栽計画は、小林家住宅保存活用計画に基づいて、現在の自然環境と調和した状態を維持することを前提として、良好な景観維持をしていく考えである。  
③モノレールの位置変更での影響はないと考えるが、天候による来訪者の影響は大きいと思われる。

②小林家住宅の周辺環境は自然に恵まれて素晴らしいが、同時に四季折々の季節の変化を楽しむような植栽計画はどのようなものに取り組んでいるのか？

③モノレールの位置変更前と変更後の利用実績比較はどうか。さらには現状と課題について、どのように分析しているのか。  
**教育長** ①アンケートによれば、評価の声が多い。要望等については、月1度実施している



# 平成29年第1回臨時会

村議会議員の人事のため、5月10日に臨時会を開催しました。  
 村長提出案件3件についても審議され、すべてが原案どおり可決されました。

## 条例

### 議案第28号

専決処分の承認を求めること  
 について（檜原村税賦課徴収  
 条例の一部を改正する条例）

#### （説明）

地方税法等の改正に伴い、個人住民税の軽減措置に関する適用期限の延長や、固定資産税の災害に関する特例措置等を規定するものです。

### 議案第29号

専決処分の承認を求めること  
 について（檜原村国民健康保  
 険税条例の一部を改正する条  
 例）

#### （説明）

地方税法等の改正に伴い、軽減措置に係る軽減判定所得の算定方法の変更するものです。

## 人事

### 議案第30号

檜原村監査委員の選任につ  
 いて

#### （説明）

山寄源重監査委員の辞職に伴い、新たに中村賢次氏が議会選出の監査委員に選任されました。

## 平成29年第1回臨時会で審議された議案と議決結果

議長 森田ちづよ 全ての議案が全会一致で賛成となりました

区分	議案名	議席番号									議決結果
		1	2	3	5	6	7	8	9		
条例	第28号 専決処分の承認を求めることについて (檜原村税賦課徴収条例の一部を改正する条例)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	第29号 専決処分の承認を求めることについて (檜原村国民健康保険税条例の一部を改正する条例)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

議長 森田ちづよ 全ての議案が全会一致で賛成となりました

区分	議案名	議席番号									議決結果
		1	2	3	5	6	7	8	9		
人事	第30号 檜原村監査委員の選任について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

# 檜原村議会構成一覽表

議 員 名 委員 会 等		議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9
		清水 兵庫	吉川 洋	山 寄 源 重	森 田 ち づ よ	浜 中 由 造	中 村 賢 次	峰 岸 茂	山 口 和 彦	清 水 満 男	
各 種 委 員 会 名	人 数										
総務常任委員会委員	5		○	○	○	副				正	
産業建設常任委員会委員	4	副						○	正		○
議会運営委員会委員	5	正	副	○		○				○	
檜原村監査委員	1							○			
阿伎留病院企業団議会議員	2			監		○					
西秋川衛生組合議会議員	2								○	○	
秋川流域斎場組合議会議員	2	○	○								
檜原村国民健康保険運営協議会委員	2	○	○								
檜原村民生委員推薦会委員	1				○						
檜原村青少年問題協議会委員	2	○								○	
議会だより編集委員会委員	4	副	○				正			○	

正=委員長 副=副委員長 監=監査

## 9月議会のお知らせ (予定)

- 定例会初日 9月 4日(月)
- 常任委員会 9月 7日(木)
- 9月 8日(金)
- 決算特別委員会 9月 12日(火)
- 定例会最終日 9月 15日(金)

# 新体制決まる

去る5月10日に第1回樽原村議会臨時会が開催され、新議長・新副議長が選任されました。



議長 森田 ちづよ

村民の皆さまには、日ごろより村政発展のために、ご理解、ご協力をいただき、心から感謝申し上げます。

さて、5月10日の臨時会におきまして、再び議長に就任することとなりました。

議決機関である議会と執行機関である村側が、「車の両輪として」対等な立場のもとに議論を交わし、村民のためのより良い村政の実現ができるよう、精一杯努力する所存でございます。

議会運営につきましては、円

滑な議会運営を図り、村民の信頼に応え、村の発展と住民福祉の向上に尽力いたす所存でございます。

村民の皆さまにおかれましては、村議会への更なるご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



副議長 清水 満男

この度の臨時会におきまして、副議長に就任することとなりました。

微力ながら森田議長を補佐し、地方分権時代に適応した議会運営を目指してまいります。また、村民が快適で安全な生活を送ることができる、自然豊かで人々が住みたくなる村づくりを実現するため、誠心誠意努力いたします。

今後とも皆さまのご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

## 議会だよりに「声」をお寄せください

お気軽にご意見・ご要望をお聞かせ下さい。お寄せいただいた意見は議員全員に配布し、今後の議会運営の参考にさせていただきます。

お問い合わせは、議会だより編集委員会へ

TEL 598-1128 FAX 598-1009

Email: gikai@vill.hinohara.tokyo.jp

## 編集後記

仕事帰りに、ふと夜空を見上げたら、またたく星の姿が目に入りまし

た。満天の星の輝きはいつも私の心を癒してくれます。縦に長い日本列島は、北と南で夜空の見方も異なります。

北海道などでは太陽活動が活発な時期、北の空にオーロラが出現し、沖

縄最南端の有人島である波照間島は、南十字星を眺めようと多くの天文ファンがやってくる聞きます。オーロラは国内ではなじみが薄いですが、実は古くから観測の記録が残されています。

藤原定家の「名月記」では、鎌倉時代の1204年に京都で夜空が光る赤気（オーロラ）が記録さ

れています。

洋の東西を問わず、人は古くから星にさまざまな望みを託してきました。この夏、檜原の夜空を見上げ、童心に返ってそれぞれ願いを星に託してみたいかがでしょうか。

今後わかりやすく、そして関心を持っていただけるような紙面づくりをしていきたいと思えます。今回より新たなメンバーで編集いたします。ご意見・ご要望等をお待ちしております。

(浜中)

- 委員長 浜中 由造
- 副委員長 清水 兵庫
- 委員 吉川 洋
- 委員 山口 和彦